

10/12
(火)

農業用排水施設を整備 生産への後押しになれば



農地に散水する様子

平成29年度から田尻地区で実施してる県営畑地帯総合整備事業の一部が完成し、10月12日、地元受益者らに説明会が開催されました。

これは、畑地かんがい（農地に散水するシステム）を整備するもので、スプリンクラーを設置することで、労力節減や生産性の向上を図るために整備しています。

同地区は、昭和40年に区画整理などが実施されましたが、老朽化により漏水やポンプの故障などが発生していました。

上窪正志同自治公民館長は「この施設を存分に利用することで生産力が向上し、担い手不足の解消や女性、高齢営農者への負担軽減につながれば」と話しました。

10/14
(木)

全国地域安全運動を実施 地域の安全のために



運動を実施した参加者ら

10月14日、毎年恒例の全国地域安全運動が蔵之元港と諸浦港で実施されました。

地域安全運動は、安全で安心して暮らせる町にするために、地域で一体となって取り組む活動で、今年は10月11日から20日までの10日間実施されました。

同日は、阿久根地区防犯協会の会員や警察、町関係者など12人が参加し、各港の車両の安全確認などを行いました。

参加者らは、車両一台一台を施錠してあるか確認し、地域安全活動の強化に取り組みました。

10/20
(水)

川床小学校で稲刈り 秋の恵みを収穫

川床小学校（松永貢校長・112人）の3・4年生34人が10月20日、毎年恒例の稲刈りを行いました。

同校では6月に田植えを実施。4カ月かけて順調に成長した稲を、児童らが自らの手で刈り取りを行い、わらで結び掛け干しまで行いました。

最初は慣れない手つきで鎌を使っていた児童らも、保護者らの手ほどきを受けながら、稲を刈り取りました。

3年生の小城凜花さんは「おいしいお米になります

ようにと稲刈りをした。食べられるようになるのが楽しみ」と笑顔で話しました。



稲刈りをする児童